

コアファシリティ機構 研究者・研究教育支援人材向け研修 開催日程（2025 年度）

研究・教育支援人材向け人材研修（全て参加費無料です）

開催日	研修の名称	概要
① 8/20(水) 8/21(木)	研究・教育支援人材向け 自己開発研修プログラム	自らの価値観や大切にしている事柄（心のスイッチ）がどこにあるのかに気づき、その「心のスイッチ」を上手に活かせるようになることで、より仕事（業務）を愉しみ、人生をより豊かにし、また、それらが仕事や人生において良い循環を生んでいけるようになろう（2日間）。 詳細（参考 R6 年度）
② 8/29(金)	チームマネジメント研修①（基礎編） 専門家チームに良き影響を与えるチームマネージャーへの第一歩	主体性と専門性が非常に高い技術支援部門・専門家チームを纏めるチームマネージャー、今後チームマネージャーとなる方々を対象に、「専門家チームや技術部門をメンバーに良き影響を与え、また、チームとしての良いパフォーマンスを引き出せるチームマネージャーになる」を目指します。 詳細（参考 R6 年度）
③ 9/10(水) 9/17(水)	女性研究・教育支援人材向け研修 キャリアデザイン研修プログラム	本学の研究・教育を支える“女性”支援人材が、様々なライフイベントに出くわしながらも、バランスを保ち、やりがいや愉みを感じ、継続して働いていくために参考となる「考え方や心構え」を学び、その実現に向けた実践アプローチを学んでいきます（2日間）。女性限定です。 詳細（参考 R6 年度）
④ 9/30(火)	チームマネジメント研修②（発展編） 組織の要となるマネージャーへのステップアップ	研究・教育支援を行う専門家チームや技術支援部門等のマネージャーを対象として、組織の上下左右（上：上司、下：チームメンバー、左右：ステークホルダー）に対して良き影響を与え、「組織の要となるマネージャーへのステップアップ」を目的に、その基礎概念や取組方法を、座学・実習を通して学びます。 詳細（参考 R6 年度）
⑤ 11/5(水) 11/6(木)	研究・教育支援人材向け レジリエンス・フォローアップ研修 レジリエンス 上司への上手な働き掛け しなやかさとフォローアップを身につけて組織・チームの要へと成長しよう	プレッシャーや重い責任に晒される自分自身を手懐け、難しさや困難をしなやかに乗り越え・回復する力（レジリエンス）を身につけること、チームのメンバーや部門を統括する上司に“上手く”働き掛け、チームや組織全体のパフォーマンス向上に寄与すること（フォローアップ）を、座学・グループワークを通して学びます（2日間）。旧女性研究・教育支援人材向け研修（発展編）です。今年度から男女問わず受講頂けます。 詳細（参考 R6 年度）
⑥ 11/27(木)	チームマネジメント研修③（実践編） アクションラーニングによるチーム学習を通して、チームでの問題解決力やチームビルディング・チームワークに関する実践力を高めよう	チームでの問題解決力、チームマネジメント・チームビルディングに関する実践力を高めることを目的に、アクションラーニングの手法を取り入れたチーム討論形式での研修。4-6 人のメンバーにコーチ担当の講師を加えたチームをつくり、取り上げた問題に対してチームごとに質問・議論を繰り返すなかで、メンバーの気付きを深め、またチームでの共感を高めていく。 詳細（参考 R6 年度）
⑦ TBA 開催予定	研究データに関わる研究・教育支援人材向け Python 活用基礎研修	本研修では、研究・教育支援現場で広く活用されるプログラミング言語である Python を使った基礎的なプログラミング技術を、オンライン実習（90 分×4 回）を通して学びます。 令和 5 年度に開催（詳細） 6 年度は未開催

問合せ先：inquiry_corefcl@reno.osaka-u.ac.jp 内線：豊中 6050（古谷）、吹田 4816（唐牛）

分析技術 関連

⑧ 7/17 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18	オンライン講習会（2h x 6 回） 「基礎から学ぶ無機元素分析」 学内の方は無料・学外の方は有料	無機元素分析の初歩的な基礎知識から ICP-OES を使った分析の実践的な知識まで、この道 30 年のプロフェッショナルな講師が全 6 回の講義で丁寧に解説します。これから無機元素分析を始めたい方、普段の分析業務でお困りのことがある方はぜひご参加ください。 （詳細）開催中
---	---	---

ものづくり・工作支援 関連（技術講習会は材料費等の負担が必要です）

第 1 回 9/1-9/19 ⑨ 第 2 回 2～3 月 (2026 年)	4 年生/大学院生・研究者・教職員向け 機械工作・ガラス工作 技術講習会 (FD 研修¹⁾：研究・教育のための工作技術講習会)	教育・研究活動に必要な、機械工作・ガラス工作技術を集中的に習得できる講習会。機械工作（4 日間）、ガラス工作基礎編（2 日間）・アドバンス編（2 日間）のコースがあります。これらコースは、材料費等の負担が必要です。第 1 回の申込〆切は 8 月 6 日です。 詳細（令和 7 年度第 1 回目）
⑩ 毎月開催	4 年生/大学院生・研究者・教職員向け 3D-CAD (Fusion360) 入門講習会 (FD 研修¹⁾：研究・教育のための工作技術講習会) (無料・電子メールで申込み)	教育・研究活動に必要な、機械工作・ガラス工作技術を代表的な 3D モデリング (3D-CAD/CAM) ソフトウェアである Autodesk 社の Fusion360 を用いて、3D プリンターや 3 次元加工機による造形・パーツ製作に必要な、3 次元設計図面の作り方の基本について、実際に各自の PC を使いながら実習します（無料）。所要時間 約 3 時間 詳細（令和 7 年度）

問合せ先：inquiry_corefcl@reno.osaka-u.ac.jp 内線：豊中 6050（古谷）、吹田 4816（^{からうじ}唐牛）

大阪大学コアファシリティ機構

www.corefc.osaka-u.ac.jp

科学機器リノベーション・工作支援センターと低温センターを統合し、またコアファシリティ推進室の機能も取り込み、研究担当理事の下に全学的な研究基盤や研究支援体制の整備・強化を担う組織として、令和 5 年 4 月にコアファシリティ機構として発足しました。

①共創利用支援部門（全学機器共用）、②工作支援部門、③低温科学支援部門（旧低温センター）、④データ利活用・研究 DX 化支援部門、⑤研究基盤人材育成部門の 5 つの部門から成ります。

詳細は機構 HP をご覧ください。



Core Facility Center
The University of Osaka

1) FD 研修（ファカルティデ・ベロップメント研修）

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員が、全学及び各部局が実施する教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力に関する研修を、採用後 3 年間で 30 時間受講するもの。

https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/